

**要望事項 (優先順位 7)**

学区住民の人口や人口構成の把握

**要 旨**

当学区は、国勢調査統計上、市原野学区と一緒にいるとともに、地域内にある2箇所の老健施設の入居者も人口に含まれるため、正確な地域住民の人口等が把握できない状況です。

少子高齢化や人口の自然減少が厳しく、2年後には小学校の統廃合が決定しており、学区として各種の事業活動の実施や地域の将来を考えるうえで、人口が把握できないことが大きなネックとなっています。国勢調査において、より実態に則した人口把握をするため、以下の2点について要望します。

- ①国勢統計区を学区単位とする
- ②地域住民と老健施設の入居者を分けられるような集計方法の構築

**回 答****(総合企画局)**

御要望の①につきましては、国勢統計区とは、国勢調査をはじめとする各種統計調査の統計表章単位として用いるために、人口が概ね1万人程度の恒久的な地域として昭和45年の国勢調査から設定しているものです。

国勢統計区の範囲を変更しますと、長年実施してきました国勢調査の統計データと比較することができなくなります。

現行の国勢統計区であっても、国勢調査の調査結果は、町別に公表しており、静原学区に含まれる町を御覧いただくことで、学区の人口を把握することができますので、国勢統計区の変更を要する状況にはありません。

また、②につきましては、国勢調査は人口等を把握するために実施しておりますが、特定の施設の入所者数を把握、公表するために行うものではありませんので、御理解いただきますようお願い申し上げます。

総合企画局情報化推進室では、「京都市統計ポータルサイト」において、国勢調査の結果を公表するとともに、住民基本台帳人口につきましても、3か月ごとに集計し、町別人口等を提供しています。

静原学区に含まれる町を御覧いただくことで、国勢調査人口及び住民基本台帳人口いずれも御確認いただくことができますので、地域の事業活動等に御活用ください。

なお、介護老人保健施設等に入所されている方につきましては、国勢調査人口では、調査期日に住んでいる場所（施設等においては、3か月以上入所）で、また、住民基本台帳人口では、住民登録をしている場所で計上しています。